

赤間小学校校区通学路の要対策箇所一覧表

箇所番号	危険・緊急度	路線名	箇所名	通学路の状況・危険内容	対策内容	事業主体	実施状況【実施済・実施中・検討中・未実施】
赤間小①	A	市道文京学園通	東文京町 緑橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路及び緑橋の幅員が狭い。</li> <li>・歩道が設置されていない。</li> <li>・若木町方面から多くの児童が利用する道路のため改善を希望したい。</li> <li>・赤平中学校裏車庫付近交差点 見通しが悪いことから徒歩通学時や放課後自転車での飛び出し事故の危険性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で橋の横の副道を使うよう指導する。</li> <li>・青少年センター等でパトロールを行う。</li> <li>・緑橋の架け替えに係る実施設計を行う。</li> <li>・緑橋は歩道の設置及び歩車道の拡幅を検討する。</li> <li>・緑橋から赤平中学校裏車庫付近交差点までの区間について歩道の設置及び車道の整備を検討する。</li> <li>・赤平中学校裏車庫付近交差点 パトロールの際に自転車の乗り方等を注意する。</li> </ul> <p>(合同点検)</p>	学校 教委 赤平市  赤平市  警察	



危険・緊急度 A：緊急に対応が必要（児童生徒・ドライバー等が危険を認識し注意しても事故の発生が予想される箇所、事故歴がある箇所等）  
 B：速やかに対応が必要（児童生徒・ドライバー等が危険認識を欠如した場合に事故発生が予想される箇所、事故に至らないが危険を感じたことがある箇所等）  
 C：安全のために対応が必要（危険性は高くはないが、改善の必要があると判断される箇所、事故の可能性のある箇所等）

赤間小学校校区通学路の要対策箇所一覧表

箇所番号	危険・緊急度	路線名	箇所名	通学路の状況・危険内容	対策内容	事業主体	実施状況【実施済・実施中・検討中・未実施】
赤間小②	A	道道赤平奈井江線	豊丘町 字豊里	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の幅員が狭い。</li> <li>・歩道が設置されていない。</li> <li>・児童館があり学童保育利用者が多く利用する道路のため改善を希望したい。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の設置を要望する。</li> <li>・歩道整備までの間は、学校での安全指導と青少年センター等のパトロールを行う。</li> <li>・歩車道の拡幅を検討する。</li> <li>・交差点箇所における局部照明の設置を検討する。</li> <li>・信号機（歩行者用含）と横断歩道の増設を検討する。</li> </ul> <p>(合同点検)</p> 	学校・教委 学校・教委  北海道 北海道 警察	

危険・緊急度  
 A：緊急に対応が必要（児童生徒・ドライバー等が危険を認識し注意しても事故の発生が予想される箇所、事故歴がある箇所等）  
 B：速やかに対応が必要（児童生徒・ドライバー等が危険認識を欠如した場合に事故発生が予想される箇所、事故に至らないが危険を感じたことがある箇所等）  
 C：安全のために対応が必要（危険性は高くはないが、改善の必要があると判断される箇所、事故の可能性がある箇所等）

赤間小学校校区通学路の要対策箇所一覧表

箇所番号	危険・緊急度	路線名	箇所名	通学路の状況・危険内容	対策内容	事業主体	実施状況【実施済・実施中・検討中・未実施】
赤間小③	C	国道38号	共和町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期間、歩道が雪で細くなってしまふ。</li> <li>・交通量が多い箇所なので、登校時までに歩道除雪が終われるようにお願いしたい。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運行時間を考慮しつつ除雪の時間帯を検討する。</li> </ul> (合同点検) 	国	

箇所番号	危険・緊急度	路線名	箇所名	通学路の状況・危険内容	対策内容	事業主体	実施状況【実施済・実施中・検討中・未実施】
赤間小④	C		通学路全体的に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期間、通学路の交差点や十字路の見通しが悪くなるのでこまめな除雪をお願いしたい。</li> </ul>			

危険・緊急度 A：緊急に対応が必要（児童生徒・ドライバー等が危険を認識し注意しても事故の発生が予想される箇所、事故歴がある箇所等）  
 B：速やかに対応が必要（児童生徒・ドライバー等が危険認識を欠如した場合に事故発生が予想される箇所、事故に至らないが危険を感じたことがある箇所等）  
 C：安全のために対応が必要（危険性は高くはないが、改善の必要があると判断される箇所、事故の可能性のある箇所等）